

一宮の比女性に移植



ターラ・
エンリレさん

名古屋第一赤十字病院
(名古屋市中村区)は二十
五日、急性骨髄性白血病を
患う愛知県一宮市のフィリ
ピン人女性ターラ・エンリ
レさん(三四)に、米国のバン
クから輸送した臍帯血(さいたいけつ)を移
植する手術を実施した。今
後、移植が成功したかどうか

米国バンクからの臍帯血

かを慎重に見守る。

手術は午後五時に開始。

米国のバンクから届いた臍
帯血を体内に注射し、三十
分ほどで終えた。

病院は移植した臍帯血が
健康な血液を造り始めるか
どうかを、三〜四週間程度
かけて確認する。拒絶反応
が起きないかも見極める。
同病院は「一番大変な時期
を迎える」とコメントし
た。

病室で手術を見守った市

民団体「ターラさんを支援
する会」の代表岡本真紀さ
ん(四)は「回復に向かうス
タート。きつと乗り越えて
くれると信じています」と
話した。

エンリレさんは昨年一月
に発病。複数の人種が絡む
混血のため、国内の骨髓や
臍帯血のバンク、日本と提
携する海外の骨髓バンクに
は適合型が見つからなかつ
た。

同病院が十一月、米国の
臍帯血バンクで適合する臍
帯血を見つけ、交渉して移
植を実現させた。